

住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備点検票					
名 称				防火管理者	
所 在				立 会 者	
点 検 種 別	機 器 ・ 総 合	点 検 年 月 日	年 月 日～ 年 月 日		
点 検 者	氏名	点 検 者 所 属 会 社	社名 TEL		
			住所		
点 設 備 名	住 戸 用 受 信 機	製造者名			
		型式等			
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容	
機 器 点 検 (住 戸 用 自 動 火 災 報 知 設 備)					
☆ 住 戸 用 受 信 機 ・ 中 継 器	周 囲 の 状 況				
	外	形			
	表	示			
	電 源 表 示 灯				
	ス イ ッ チ 類				
	表 示 灯				
付 属 装 置					
☆ 感 知 器	外	形			
	警 戒 状 況	未 警 戒 部 分			
		感 知 区 域			
		適 応 性			
		機 能 障 害			
	熱 感 知 器				
	煙 感 知 器				
炎 感 知 器					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中☆印の欄は、(その4)に住戸等ごとの点検結果を記入すること。

別記様式第32

住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備（その2）

☆音声警報装置・音響装置（補助音響装置を含む。）	外形					
	取付状態					
	音声警報等					
	鳴動方式					
※蓄積機能						
☆戸外表示器	外形					
	作動表示灯					
	通電表示灯					
	音声警報装置の鳴動状況					
関係者等へ報知する装置						
機器点検（共同住宅用非常警報設備）						
非常電源（内蔵型）	外形					
	表示					
	端子電圧		V			
	切替装置					
	充電装置					
	結線接続					
非常ベル・自動式サイレン	起動装置	周囲の状況				
		外形				
	操作部	表示				
		機能				
	複合装置	外形				
		表示				
	サイレン	電源表示灯				
		スイッチ類				
		ヒューズ類		A		
		継電器				
		表示灯				
		結線接続				
	接	地				
		予備品等				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。
  - 票中☆印の欄は、（その4）に住戸等ごとの点検結果を記入すること。

別記様式第32

住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備（その3）

音響装置 (ベル)	外形							
	取付状態							
	音響警報等							
	鳴動方式							
表示灯								
総合点検（住戸用自動火災報知設備）								
※ 煙感知器の感度								
音声警報装置・音響装置（戸外表示器の音声警報装置を含む。）の音圧								
※ 総合作動								
総合点検（共同住宅用非常警報設備）								
音響装置の音圧								
総合作動								
備考								
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	加熱試験器							
	加煙試験器							
	外部試験器							
	煙感知器用感度試験器							

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものにあつては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

警戒区域又は住戸等	住戸用受信機	感知器						音声警報装置・音響装置	戸外表示器	結果	措置内容
		差動式スポット型	定温式スポット型	補償式スポット型	光電式スポット型	イオン化式スポット型	炎感知器				
名称等											
合計											
備考	<p>留意事項 住戸内の部分については、外観上の項目について居住者の自主点検をもって足りるものとする。この場合において、次に掲げる事項が、居住者に対して周知されている必要があること。</p> <p>ア 外観上の点検を実施する義務</p> <p>イ 外観上の点検項目</p> <p>ウ 異常が発生している場合の措置</p> <p>エ その他留意事項</p> <p>備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。</p> <p>2 共用部分にあっては警戒区域ごとに、住戸等にあつては住戸等ごとに各欄に掲げる設備等の個数を記入すること。</p> <p>3 結果の欄には、警戒区域又は住戸等ごとに各欄に掲げる設備等の点検結果が全て正常の場合は○、一部でも否である場合は×を記入すること。</p>										